

地方創生先行型交付金事業検証用シート

交付金事業名	地元産品育成・PR事業
事業名	④ 販売推進戦略事業
担当課	とわだ産品販売戦略課

事業概要

○十和田の野菜ブランド定着事業
 十和田産野菜のPR及びブランド定着化を図るため、日本野菜ソムリエ協会及びソムリエを活用した各種事業を実施したほか、首都圏著名飲食店での利用機会拡充を図った。

○産品販売・流通促進事業
 十和田産品の販路拡大を図るため、市長によるトップセールを行うとともに、県内及び首都圏等で産品販売を実施した。

○食と農の情報発信事業
 本市の農業及び産品並びに知名度向上のための情報発信を行った。

KPI（重要業績評価指標）の進捗状況

KPI (重要業績評価指標)	平成27年度 目標値	平成27年度 実績値	平成27年度の 進捗状況
ひめますを生食可能な 品質で販売する割合	100%	67%	未達成

総合戦略上の位置づけ

基本目標	具体的な施策・事業		
1 地域における安定した雇用を創出する	1-1-1 農畜産物など高品質なとわだ産品の「ブランド力」の更なる向上 ・地元農産物、加工品販売「市」の開催 ・地域内連携による6次産業化支援事業		
総合戦略上のKPI (重要業績評価指標)	現状値 (平成26年度)	目標値 (平成31年度)	
「六次産業化・地産地消費」に基づく 総合化事業計画認定事業者数	3件	8件	

先行型交付金事業の進捗の分析・今後の展望

【平成27年度 達成率】67%
 【方向性】引き続き、十和田産食材のブランド力を高める。

●日本野菜ソムリエ協会との連携強化及び首都圏のスーパー等におけるトップセールス等を実施する。
 ●十和田湖ひめますの急速冷凍庫導入により提供改善を実施するとともに、イメージアップを図り、取扱い店舗の増、認知度の向上を目指す。
 ●十和田ふぁみりーずやSNS等広告媒体を活用した情報発信やメディアの活用を実施する。

(1) 十和田の野菜ブランド定着事業

①野菜ソムリエ協会との連携事業

ア. 産地見学

平成 27 年度は、野菜ソムリエ協会の広範な人脈を生かして、食にこだわった実需者を招へいし、圃場や生産施設等を見学してもらった。生産者や産地との信頼関係が構築され、十和田の農作物や畜産物の取引に繋げることができた。

視 察 者		成 果
PATINASTELLA	スーシェフ	十和田をはじめとした青森県食材フェアを開催予定。
Bois Vert	オーナーシェフ	メニューにおける十和田産食材の活用拡大。
(有)荒川青果	営業マネージャー	青果店における十和田産野菜の取り扱い。
株式会社 東急ストア	執行役員	十和田湖和牛及び奥入瀬ガーリックポークの取り扱い。



産地見学の様子

イ. VMCの開催 ※自治体パートナーは年間1回無料

情報発信力の高い首都圏の野菜ソムリエに対し、十和田市の野菜や土づくりの取り組みを紹介することで情報伝播を図る。

開催年月	テーマ	人数
H24 年 9 月	十和田おいらせミネラル野菜	26 人
H25 年 10 月	にんにく	31 人
H26 年 11 月	ねぎ	31 人
H27 年 3 月	ごぼう	29 人
H27 年 11 月	長いも	23 人



生産者やJA職員、野菜ソムリエによる講座が人気

②有名実力シェフ連携事業

サンプル食材の提供を実施することで、十和田産の特長を理解し、提供してもらう飲食店を増やすことを目的とする。

サンプル食材提供

年度	件数	金額	実績
24	56件	370,408円	センチュリーコート丸の内での1か月のイベント、アカデミックレストラン（JA主催）等
25	61件	398,661円	センチュリーコート丸の内の十和田ランチ、高島屋柏店でイベント期間におけるインスタプロモーション、アカデミックレストラン等
26	43件	195,000円	高島屋柏店でイベント期間における「インスタプロモーション」、パークハイアット東京、センチュリーコート丸の内ほか、有名レストランやホテルへの提供
27	53件	325,771円	高島屋柏店でイベント期間における「インスタプロモーション」、センチュリーコート丸の内、パークハイアット東京、有名レストランやホテルへの提供によりメニューへの定番採用や十和田産食材を使ったフェアが開催された。

③野菜ソムリエ活用事業

市内の野菜ソムリエと「キッズソムリエ」の連携により、十和田産野菜のPR活動を実施する。

年度	開催回数	参加者数	内容
24	6	11	にんにく植付・収穫体験、市場見学、野菜カルタ作製、イトーヨーカドー青森店で十和田産野菜PR活動等
25	4	19	長芋植付・収穫体験、PRポスター作製、キッズ屋台
26	5	12	にんにく収穫体験、農園見学、やさい新聞を作成し市内の産直コーナーがあるスーパー等に配布
27	4	30	道の駅とわだぴあにおいて試食の提供やレシピの配布などを行い、十和田産野菜のPR活動

(2) 産品販売・流通促進事業

十和田産品のブランド力の向上や販路拡大のため、県内や首都圏等で市長のトップセールスによる産品のアピールや販売を行った。また、新たな販路開拓のため、商談会への出展や物産展でのキャンペーン活動を行った。

①販路拡大トップセールス事業

- ・十和田産品の販路開拓・拡大について、市長が県内外の大手量販店等の経営トップに直接アピールして、取引きにつなげるための事業。

区 分		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	計
トップ セールス	市 単 独	0	1	1	1	3
	青森県フェアへの参画	2	5	4	4	15
	県 内	1	2	2	1	6
	県 外	1	3	2	3	9
合 計		2	6	5	5	18

平成 27 年度（5 件の内訳）

◆ 市単独（1）（株）高島屋（千葉県柏市）



「十和田奥入瀬味紀行」取扱分 出展：13 事業者

- ・農産・・・十和田おいらせミネラル野菜
- ・畜産・・・十和田ガーリックポーク、十和田湖和牛
- ・水産・・・十和田湖ひめます
- ・加工・・・十和田バラ焼き、十和田にんにくラーメン、十和田奥入瀬餃子、黒にんにく、
- ・調味料・・・スタミナ源たれ、
- ・スイーツ・青森の魔女シリーズ
年輪焼き（バウムクーヘン）
- ・飲料・・・奥入瀬地麦酒、奥入瀬のむヨーグルト
- ・酒・・・鳩正宗
- ・食の提供・・・レストラン等（9）でのインスタプロモーション

◆ 青森県フェア (4)

- ・ 県内 イオンリテール(株) (青森市)
- ・ 県外 イオンリテール(株)南関東 (東京都板橋区)
 (株)ヨークマート (埼玉県川口市)
 岡山高島屋 (岡山県岡山市)

「青森県産フェア」取扱分	
・ 農 産	・ ・ ・ 十和田おいらせミネラル野菜
・ 畜 産	・ ・ ・ 奥入瀬ガーリックポーク
・ 加 工	・ ・ ・ 十和田美人ごんぼ、十和田バラ焼き プレミアムにんにくパウダー
・ 調味料	・ ・ ・ スタミナ源たれ、バラ焼きのたれ

② 商談会活用支援事業

- ・ 商談会は、バイヤーへの商品アピールの絶好の機会であり、市のブースを開設・出展に意欲のある事業者を支援し、十和田産のより一層の販路拡大を図った。

出展件数及び出展事業者数

(単位：件・(事業者))

区 分	年 度				
	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	計
商 談 会	2 (10)	4 (14)	4 (12)	5 (20)	15 (56)

※ () の数字は、出展した事業者数(述べ)。

③ 産品宣伝販売事業

- ・ 販売促進と PR 活動のため、催事を企画・開催し、市産品の PR 及び販売を行った。

出展件数及び出展事業者数

(単位：件・(事業者))

区 分	年 度				
	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	計
物産展等	6 (16)	7 (15)	9 (23)	10 (19)	32 (73)
販促イベント(市単独)	2 (12)	3 (37)	4 (35)	5 (50)	14 (134)
合 計	8 (28)	10 (52)	13 (58)	15 (69)	46 (207)

※ () の数字は、出展した事業者数(述べ)。平成 27 年度は十和田づくしフェアの出展者数含む。

④「十和田湖ひめます」ブランド力向上事業

・「十和田湖ひめます」の高品質保持及び安定供給のため、冷凍冷蔵設備導入に対して補助を行った。

十和田湖ひめます 生食可能な状態で販売する割合

(単位:t)

年 度	漁獲高 A	販 売 数 量					保管	次年度繰 越在庫又 は 廃棄	生食可能な状 態で販売する 割合 (B÷A)
			生食可能な状態で販売可能なもの		普通冷凍				
			B	冷蔵①		急速 冷凍②			
H26 現状値	10.0	8.0	5.0	5.0		3.0	0.0	2.0	50%
(目標値)	10.0	10.0	8.0	5.0	3.0	2.0	0.0	0.0	80%
H27 実績値	16.0	13.7	10.7	7.4	3.3	3.0	0.0	2.3	67%

(3) 食と農の情報発信事業

市の農業や産品の特長・魅力について、ゆるキャラやSNS等の広告媒体を活用して情報発信をすることにより、市ならびに十和田産品の知名度向上を図ることを目的とする。

①十和田ふぁみりーず全開事業

- ・「十和田ふぁみりーず」による県内及び首都圏等における各種イベント等をを活用したPR活動を展開する。

PRキャラクター「十和田ふぁみりーず」を活用したPR活動及び情報サイトアクセス状況

区 分 \ 年 度	24年度	25年度	26年度	27年度	備 考
イベント等への出演回数	54	95	95	97	
サイトアクセス数	11,216	34,967	42,822	35,864	24年10月から計測開始
動画本数	72	149	76	55	
PR動画再生回数	21,230	26,025	16,031	14,516	

※「ゆるきゃらグランプリ 2012」への参加を機に「みうらじゅん賞」を受賞。



トップセールス



南小学校産品PR隊



イトーヨーカドー
フェアチラシ



市制施行10周年記念
年賀はがきに採用

②情報ソリューション事業

市の Facebook や広告などを活用し、市や十和田産品の情報発信をする。

- ・ Facebook を活用した情報発信

Facebook 「おいしい十和田」 十和田産品や活動状況を随時リアルタイムで情報発信し、新しい情報の拡散を図る。

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
いいね数	-	862	1,060	257	506

H26 年の「いいね数」の大幅減は、H26.7.1 に名前を変更した際に「いいね数」の引き継ぎができなかったことによる。

- ・ 広告媒体等による情報発信

読者プレゼントの情報として商品などをメディアに提供。

広告媒体等	読者プレゼント	掲載予定
株式会社 食肉通信社 全国で唯一の食肉専門誌を発行する出版社（大阪府）	10 名様十和田産品詰め合わせ	平成 27 年 12 月 1 日掲載
株式会社 VM 子供を持つ主婦層をターゲットとした季刊誌、 ビタミンママ等を発行する出版社（神奈川県）	10 名様十和田産品詰め合わせ	平成 28 年 3 月掲載
河北新報県南広告社 県の支援により青森観光タブロイド紙を 15 万部発刊	10 名様十和田産品詰め合わせ	平成 28 年 3 月 1 日掲載

- ・ メディアツアーの招へい

紙面掲載を希望する首都圏等のメディアを招致し、掲載により十和田産品の情報を全国へ発信する。

取材メディア	取材内容	備考
株式会社 食肉通信社 全国で唯一の食肉専門誌を発行する出版社（大阪府）	十和田ガーリックポーク他	平成 27 年 12 月掲載
株式会社 VM 子供を持つ主婦層をターゲットとした季刊誌、 ビタミンママ等を発行する出版社（神奈川県）	十和田で親子の社会科見学。十和田の農業と産品について知る。	平成 28 年 3 月 1 日掲載

十和田製品のメディア等への掲載状況

(単位：件)

区 分 \ 年 度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
新 聞	0	40	44	55	60
書 籍	0	1	1	4	3
ラ ジ オ	1	3	0	0	0
テ レ ビ	0	5	14	3	6
ネ ッ ト	0	1	0	1	1
合 計	1	50	59	63	70

③十和田の食卓活用事業

「十和田の食卓」、7月からは「よーがや」を首都圏での十和田製品のPR・販売の拠点としてキャンペーン活動を行う。

年 度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
実績等	①モニター用十和田製品の提供 ②野菜ソムリエの活用 ③紹介グッズの作成 ④観光情報パンフレット等の提供 ⑤市職員による応援体制の充実	①紹介グッズ（手拭い）増作 ②野菜ソムリエ店頭キャンペーン ③人件費、需用費、役務費に係る経費に対して補助 ④市職員による応援体制の充実	①紹介グッズ（エプロン作成） ②十和田フェア開催 ③人件費、需用費、役務費に係る経費に対して補助 ③市職員による応援体制の充実	①十和田フェア開催 ※平成 27 年 5 月をもって上野毛店舗を一旦閉店。 7月「よーがや」にてコーナー再開。



十和田の食卓での店頭キャンペーンの様子



セレクトショップ「よーがや」の店内 十和田コーナー